



作品名 風からのメッセージ
A Message from the Wind

作者 中村 明二 NAKAMURA Meiji
寸法 105(幅)×40(奥)×35(高さ)cm
展示場所 東浦公園

■作家歴

1948茨城県生まれ
愛知県立芸術大学大学院研修科修了
愛知県立芸術大学非常勤講師(～1987)
名古屋、各務原、水戸、ひたちなか市の公共
施設に作品設置

■コメント

「風」風は何かを運んで来る。そして何かを語り掛けてくる。季節の変わり目には、新しい香りや希望、四季を演出する風。優しく頬を撫でられた時、強い力で体を押された時、風はすぐ脇に居ます。風を全身で受け、顔で頬で耳で風からのメッセージを聞いて下さい。



作品名 水面 Level

寸法 80(幅)×80(奥)×75(高さ)cm(1パーツ)
作者 大岩 久乃 OIWA Hisano
展示場所 原邸公園

■作家歴

1972熊本県生まれ
愛知県立芸術大学大学院彫刻研究科修了
栃木県那須ヶ原彫刻シンポジウム参加
東京、名古屋で個展開催

■コメント

公園の導入口として、流れ・広がりを感じる存在となるように自然素材の石を使って公園に一筋の流れをつくります。この作品は香流川のゆるやかな流れをイメージしました。自由に触れ、慣れ親しめる存在となることを期待します。



作品名 偶
icon

作者 郷 晃 GO Akira
寸法 60(幅)×60(奥)×180(高さ)cm
展示場所 血の池公園

■作家歴

1955岐阜市生まれ
愛知県立芸術大学大学院研修生修了
国画会(新海賞)(野島賞)
日本各地の展覧会に出品
現在 新潟大学教育人間学部芸術環境講座教授

■コメント

この作品の制作は、エジプト旅行での印象がきっかけでした。エジプトの神殿に残る数多くの偶像は、ほとんど全てが顔を荒々しく削り取られています。顔の破壊は、偶像崇拝を否定するイスラム教徒によってであるとの説らしいのですが、私は本来あったであろう様々な顔を想像しながら、それぞれの顔のない偶像にあてはめました。

私が偶像らしき形の上部に顔を造らず、のっぺらぼうにしたのは、安易に造ってしまうよりは、...という思いがあるからです。



作品名 生一輪廻(せいーりんね)
SEI-transmigration of the soul

作者 松延 佳子(旧姓藤垣)
MATSUNOBU Keiko
寸法 180(幅)×90(奥)×100(高さ)cm
展示場所 杖ヶ池体育館

■作家歴

1989愛知県立大学大学院美術研究科
彫刻専攻 卒業

■コメント

長い間繰り返されて来た生命の伝達は、これからも限り無く続いて行く。